



1,441人のランナーが力走 阿蘇カルデラスーパーマラソン



▶波野支所(50kmコース)をスタートするランナー。



毎年多くのランナーが参加し賑わう第21回阿蘇カルデラスーパーマラソンが6月4日行われ、全国から1,441人が参加し、阿蘇外輪山に特設された高低差500mの難コースを力走しました。

本大会は阿蘇郡市大会実行委員会が主催し毎年行われており、100kmコースは南阿蘇村、50kmコースは波野支所前からスタートし、内牧の阿蘇市総合センターのゴールを目指す過酷な競技。昨年は口蹄疫の影響で中止になり2年ぶりに開催されました。

阿蘇市からも22人のランナーが出場し、沿道からの暖かい応援を背に自然豊かな阿蘇路を楽しみながら走りました。

わらじ作りを学ぶ



阿蘇神社前うなり茶屋 2階の「あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館」で5月28日、当館の活動として、布を使ったわらじ作りが行われ、失われつつある技術をぜひ覚えておきたいという人たちが集まりました。

講師は、古閑貞雄さん(89歳、古城3の2区)で、古閑さんのその技には皆目を奪われました。「昔は当たり前」と笑って話す古閑さんですが、わらじ以外の細工もうまく名人といっても過言ではありません。作業中、おのずと昔話が飛び交う中、古閑さんの100ページ超にわたる戦争手記も披露され有意義な時間となりました。

布わらじ作りは毎月第4土曜午前10時から行われています。(8月は線香山の催しのため休み。)お気軽にご参加ください。

青少年関係機関・団体集い総会



青少年の心身の健やかな成長を図るため、市民及び青少年関係諸機関・団体が協力し、健全な家庭・明るい社会環境の醸成に努めようと発足した阿蘇市青少年健全育成市民会議(安部武夫会長)の総会が5月28日行われ、活動報告、今年度の活動案などが承認されました。終了後、東日本大震災緊急援助隊として現地での救助や行方不明者の捜索にあたった阿蘇広域消防本部特殊災害救助隊長 遠山浩一郎消防司令補による講演と、救急救命士 山部哲範消防士長による救急処置の説明があり、いろんな局面でどう子どもたちを守っていくか、またどう強い子どもに育てていくかが考えられました。

耕作放棄地解消プロジェクトで 芋苗植え



水土里ネット一の宮(一の宮町土地改良区)では、農地・水・環境保全向上対策事業の一つとして耕作放棄地解消プロジェクトを推進し、平成20年から耕作放棄地を借り上げサツマイモを栽培し、学校給食などに提供しています。

今年も6月15日、農地・水・環境保全活動組織の構成員や、区長、一の宮中学校フレンドルームの生徒など100人が集い、四季彩一の宮西側2,600㎡に約3,000本の苗植えが行われました。

また、昨年度結成された「一の宮EM菌環境保全隊」による一の宮町全戸へのEM活性化液の無料配布を今年も実施するのに先駆け、苗植え終了後、EMいぼかし作り講習会も行われ、皆さん真剣に取り組まれました。